令和7年3月18日(水曜日) 午後2時8分 開 議

●議事日程第1号 3月18日(水曜日)

第1 開 会

第2 会期の決定

第3 行政報告及び提出議案

第4 令和7年度施政方針

第5 議案第1号「令和7年度 飯塚地区消防組合予算」

(提案理由の説明、質疑、討論、採決)

第6 議案第2号「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」

(提案理由の説明、質疑、討論、採決)

第7 議案第3号「飯塚地区消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び飯塚地区消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」

(提案理由の説明、質疑、討論、採決)

第8 議案第4号「飯塚地区消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」

(提案理由の説明、質疑、討論、採決)

第9 議案第5号「飯塚地区消防組合会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」

(提案理由の説明)

第10 議案第6号「福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について」

(提案理由の説明)

第11 議案第7号「公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めること」

(提案理由の説明)

第12 議員提出議案第1号「飯塚地区消防組合議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例」

(提案理由の説明、質疑、討論、採決)

第 1 3 報告事項

(提案理由の説明)

第 1 4 一般質問

第 1 5 署名議員の指名

第 1 6 閉 会

●会議に付した事件

議事日程のとおり

午後 2 時 8 分 開会

◎議長 (江口 徹)

△開会

出席議員が定足数に達しておりますので、これより令和 7 年 第 1 回 飯塚地区消防組合議会定例会を開会いたします。

△会期の決定

◎議長 (江口 徹)

それでは、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、3 月 1 8 日、1 日といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、3 月 1 8 日、1 日と決定いたしました。

△行政報告及び提出議案

◎議長 (江口 徹)

行政報告及び提出議案に入ります。

組合長の行政報告及び提出議案の説明を武井組合長お願いいたします。

武井組合長

○組合長 (武井 政一)

本日、令和 7 年第 1 回消防組合議会定例会を招集するにあたり、昨年 1 2 月の定例会以降、本日までの事務事業の概要を報告し、審議の参考に供します。

はじめに、管内における令和 6 年中の火災、救急等の発生状況について報告いたします。火災件数は 7 4 件で、このうち建物火災は 3 6 件、建物焼損床面積 1, 5 0 1 平方メートル、

建物の損害額は1億8,791万8千円となっております。

死傷者については死者2人、負傷者5人となっております。

これを前年と比較しますと、建物火災件数は3件の減、建物焼損床面積288平方メートルの増、建物の損害額8,791万1千円の増、死者は1人の減、負傷者は5人の減となっております。

次に、救急出動件数は10,695件、救急搬送人員は9,125人で、これを前年と比較しますと、救急出動件数105件の減、救急搬送人員98人の増となり、令和5年に引き続き1万件を超える救急出動件数となっております。

次に、救助出動件数は99件で、前年と比較しますと6件の増となっております。

以上が、管内における令和6年中の火災、救急等の発生状況であります。今後とも火災の予防、警防並びに諸災害の防除に全力を傾注してまいり所存であります。

次に、事務事業の進捗状況につきましては、全国一斉の「文化財防火デー」行事の一環として、1月22日に飯塚市本町の明正寺において総合訓練を実施したほか、旧伊藤伝右衛門邸をはじめ王塚古墳など管内12ヵ所の文化財防火査察を実施し、貴重な国民的財産等の防火点検並びに防火意識の高揚に努めました。

また、火災予防広報につきましては、組合管内の小学校六年生を対象にした防火ポスターコンクールを実施し、管内の29校から1,481作品の応募を受け、飯塚美術協会のご協力を得て、64点の入選作品を決定いたしました。

なお、最優秀作品1点については、飯塚地区消防組合のオリジナル防火ポスターとして作成し、管内事業所等に配布するほか、入選作品については、3月1日から3月7日までゆめタウン飯塚において、防火ポスター展を開催いたしました。

以上が昨年12月消防組合議会定例会以降、本日までの事務事業の大要であります。

今議会に提案いたします議案等は、予算議案をはじめ8件でございます。

議案の内容は、上程されました都度、担当者から説明させますので、よろしくご審議のうえ、ご議決いただきますようお願いを申し上げます。行政報告及び提出議案の説明を終わります。

△令和7年度施政方針

◎議長（江口 徹）

次に、「令和7年度 施政方針」の説明を求めます。

武井組合長

○組合長（武井 政一）

令和7年度予算案を提出するにあたり、施策に対する基本方針と予算の概要について申し述べ、議員各位のご協力とご理解を得たいと存じます。

令和7年度予算編成にあたっては、限られた予算で財政運営を行っていくために、予算の効率化を意識し、最小の経費で最大限の効果を求め編成いたしました。

このような方針に基づき編成いたしました令和7年度予算の総額は、42億6,932万9

千円で令和6年度当初予算と比較しますと、16億1,223万1千円、伸び率60.68%の増となっております。

この前年度と比較した大幅な予算の増額は、令和8年4月に開始する、飯塚地区消防本部と直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部との消防指令業務共同運用に伴うもので、令和7年度予算として、共同消防指令システムの整備費用を計上したことによるものでございます。

次に、主な施策の概要について申し述べます。

令和7年度の組織目標については、これまで組織の基礎作りに取り組んで参りましたが、今後は、組織を更に成長させるため、消防態勢を充実強化し、住民広報に積極的に取り組み、組織の魅力を高めて、組織力の向上に努めて参ります。

消防態勢の充実強化については、第1に、消防の連携協力を充実するため、本年11月に大分県で開催される緊急消防援助隊の九州ブロック合同訓練に参加し、九州各県から集結する約200隊の消防隊とこの大規模な訓練を通して、消防機関相互の広域応援体制の連携と受援体制の強化を図るとともに、地域防災組織の中核である消防団及び関係防災機関と更なる連携強化に努めて参ります。

第2に、施設、装備面を充実させるため、消防車両等整備計画に基づき、高規格救急自動車を2台、最新鋭の車両に更新し消防力を強化いたします。

第3に、救急需要対策として、昨年の救急出動件数は、10,695件で、令和5年に引き続き1万件を超えております。救急出動件数は、全国的にも増加傾向にあり、今後も高齢化の進展等により救急需要は増大する可能性が高く、救急業務の役割は重要性を増しております。このため、年次計画に基づき救急救命士養成課程に2名、福岡県消防学校の救急科に8名を入校させます。

また、救急救命士17名に対し病院での院内研修を実施し、救急隊員の資質の向上を図るほか、医療機関等との密接な連携に努め、更なる救急態勢の強化に取り組んでまいります。

次に、住民広報の積極的な取り組みについては、全国の令和5年中の建物火災による死者は、1,200人で、そのうち、住宅火災による死者は、1,127人で93.9%を占め、依然として高い水準で推移しております。当管内においても、昨年は、建物火災による死者は2人で、毎年、火災で亡くなる方が続いております。

このことから、住宅火災による犠牲者の減少に向け、住民への防火意識の普及啓発及び住宅用火災警報器の設置推進を図るため、一般住民を対象にアンケート調査を計画し、自治会等への防火講話などの住宅防火対策を、各市町の担当部局及び関係機関と連携を取りながら住民広報を積極的に進めてまいります。

以上、施策の概要と所信の一端を述べ審議の参考に供し、重ねて議員の皆様のご協力をお願いする次第であります。

△議案第1号「令和7年度 飯塚地区消防組合予算」

◎議長（江口 徹）

それでは、議案第1号「令和7年度 飯塚地区消防組合予算」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

篠崎消防長

○消防長（篠崎 太望）

議案第1号令和7年度飯塚地区消防組合予算について、ご説明いたします。

お手元の、令和7年度飯塚地区消防組合予算書の1ページをお開き願います。

まず、歳入歳出予算の総額は、42億6千932万9千円と定めております。

次に、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」のとおりでございます。

次に、地方債及び一時借入金については、第2条及び第3条に記載のとおりでございます。

それでは、予算の内容について、歳入歳出予算事項別明細書により、ご説明いたします。

5ページをお開き願います。

1. 総括、歳入からご説明いたします。

1款「分担金及び負担金」、本年度予算額31億749万9千円、前年度比6億132万8千円の増額となっております。

次に、2款「使用料及び手数料」、本年度予算額121万6千円、前年度と同額を計上いたしております。

次に、3款「財産収入」、本年度予算額431万8千円、前年度比334万5千円の増額となっております。

次に、4款「繰入金」、本年度予算額4千590万4千円、前年度比3千838万8千円の減額となっております。

次に、5款「繰越金」、本年度予算額150万円、前年度と同額を計上いたしております。

次に、6款「諸収入」、本年度予算額29万2千円、前年度比2千835万4千円の減額となっております。

次に、7款「組合債」、本年度予算額11億860万円、前年度比10億7千430万円の増額となっております。

以上、歳入合計としまして、42億6千932万9千円、前年度比16億1千223万1千円、率にして60.68%の増を計上いたしております。

次に、歳出についてご説明いたします。

1款「議会費」、本年度予算額12万7千円、前年度と同額を計上いたしております。

次に、2款「総務費」、本年度予算額1億5千992万6千円、前年度比5千779万1千円の減額となっております。

次に、3款「消防費」、本年度予算額39億2千601万9千円、前年度比16億7千254万3千円の増額となっております。

次に、4款「公債費」、本年度予算額1億8千25万7千円、前年度比252万1千円の減

額となっております。

次に、5款「予備費」、本年度予算額300万円、前年度と同額を計上いたしております。以上、歳出合計は、歳入と同額の42億6千932万9千円、前年度比16億1千223万1千円、率にして60.68%の増を計上いたしております。

今回の歳入歳出予算の増額の主な理由は、令和8年4月に共用開始を予定しております、直方鞍手消防との共同運用に伴う消防指令システム整備費等、16億1千856万円を計上したことによるものでございます。

次のページをお開きください。それでは、歳入から、主なものについてご説明いたします。

まず、1款、分担金及び負担金、1項、負担金、1目、組合費負担金、本年度予算額25億4千280万6千円、前年度比4千196万4千円、1.68%の増となっております。増の主な理由は、算定の単位費用である消防単位費用が前年度から200円増額の11,800円となったものでございます。

次に、2目、施設整備事業 構成市町負担金につきましては、本年度予算額、612万5千円、前年度比79万6千円の増となっております。

これは、現在も、各市町より、指令設備中間更新事業と消防車両整備事業について、毎年、地方交付税措置分をご負担いただいておりますが、今回から新たに共同消防指令システム整備事業の地方交付税措置分をご負担いただくものでございます。

次に、3目、消防指令業務共同運用負担金5億5千856万8千円につきましては、共同消防指令システム整備事業費用負担金として、直方鞍手消防の負担額を計上させていただいております。これは、消防指令業務共同運用について、当消防本部で共同運用システム整備費用の全額を計上し、そのうち直方鞍手消防の必要額を負担していただくものでございます。

次のページに移りまして、4款、繰入金、1項、基金繰入金、1目、消防庁舎及び職員公舎建設基金繰入金、本年度予算額672万6千円の皆増につきましては、片島分署庁舎整備の事前調査として、石綿分析調査委託料に充当するため繰り入れるものでございます。

次に、2目、消防施設整備基金繰入金、本年度予算額3千917万8千円につきましては、令和6年に一般住民からご寄付いただいた寄附金を高規格救急自動車1台の購入費に充当するため繰り入れるものでございます。

つづきまして、次のページ8ページをお開き下さい。

7款、1項、組合債、1目、消防債、本年度予算額11億860万円、前年度比10億7千430万円の増につきましては、これは、共同消防指令センター整備事業に伴う監理業務委託費と整備事業委託費、そして、今回、高規格救急自動車2台を整備更新するため予算計上しておりますが、そのうち、緊急消防援助隊として登録される高規格救急自動車1台の購入費に充当するため、70%の交付税措置が見込まれる緊急防災・減災事業債で事業費の100%を起債するものでございます。

以上が、歳入の主なものでございます。

つづきまして、9ページをご覧ください。

次に、歳出の主なものについて、ご説明いたします。

まずは、2款、総務費、1項、総務管理費、1目、一般管理費、本年度予算額1億5千984万4千円、前年度比5千779万1千円を減額して計上いたしております。

1節から11節までは、例年どおりの計上となっております。

次に、12節、委託料につきましては、次のページをお開き下さい。

上から2行目、ホームページ再構築委託料387万2千円につきましては、当消防本部のホームページを新たに更新するため計上するものでございます。

つづきまして、24節、積立金の財政調整基金積立金につきましては、歳入歳出差引額の剰余分として、1億2千838万8千円、前年度比6千344万6千円を減額して積み立てるものでございます。

つづきまして、3款、消防費、1項、消防費、1目、常備消防費、本年度予算額21億9千933万9千円、前年度比1億639万円を増額し計上いたしております。

主なものとしましては、2節、給料9億566万2千円、3節、職員手当等、6億9千163万円、合計15億9千729万2千円につきましては、昨年の給与改定及び地域手当、扶養手当、児童手当の改正に伴い、前年度比、8千767万5千円、5.81%を増額し計上するものでございます。

次のページに移りまして、4節、共済費につきましては、3億3千207万6千円、前年度比1千474万7千円、4.65%を増額し、計上するものでございます。

次に、13ページをご覧ください。

2目、消防施設費、本年度予算額17億2千552万5千円、前年度比15億6千612万1千円を増額し計上いたしております。

主なものとしましては、12節 委託料の共同消防指令システム整備事業管理業務委託料1千273万8千円、共同消防指令システム整備事業委託料16億1千856万円につきましては、先程もご説明いたしました、令和8年4月開始予定の共同消防指令システム整備費用を計上するものでございます。

また、片島分署石綿分析調査委託料672万7千円につきましては、片島分署改修に向けて、片島分署庁舎のアスベスト調査委託料を計上するものでございます。

17節、備品購入費8千686万2千円の主なものは、高規格救急自動車2台の購入費として計上するもので、そのうち1台については、歳入でもご説明いたしました寄付金により更新するものでございます。

次のページをお開き願います。

次に、3目、広域災害対応費は、115万5千円、前年度比3万2千円を増額し計上いたしております。

以上が、歳出の主な説明でございます。

次のページからの給与費明細書、及び地方債の現在高の見込みに関する調書につきましては、説明を省略させていただきます。

以上で、議案第1号、令和7年度飯塚地区消防組合予算の説明を終わります。
ご審議のうえ、ご議決賜りますようお願いを申し上げます。

◎議長（江口 徹）

ただいま説明がありました議案第1号については、事前の質疑通告がなされておりますので、これより議案に対する質疑を許します。

6番 豊田一元議員に発言を許します。

○議員（豊田 一元）

予算書の1ページには、歳入歳出予算総額は、歳入歳出それぞれ42億6千932万9千円となっております。前年度の予算額と比較しますと16億1200万円の増、この件につきましては、先程組合長が市政方針で説明され、消防長から予算の説明でもあり重複しますが質疑通告しておりますので質問をさせていただきます。

この予算増は、13ページの歳出3款1項2目に「共同消防指令システム整備事業委託料」16億1,856万円が計上させています。昨年度より検討されてきました共同消防司令センター運用に向けての予算です。119番通報を受けて、消防救急隊の編成や出動の支持、無線情報伝達を直方鞍手広域消防本部と共同運用するもので、これにより迅速な応援出動による消防サービスの向上と施設整備や運用経費がコスト削減できると説明を受けてきました。昨年2月の令和6年第1回消防組合議会で消防組合予算システムの事業費について質問させていただきました。当時の答弁では、高機能消防指令システムの事業費は約10億円でその先の更新については14年間隔で同額の費用が発生すると答弁頂いたかと思えます。

令和7年度予算書では「共同消防司令システム」整備業務委託料は16億1,800万円と高額になりましたが業務委託料の概要と当初想定額との差異について質問します。

◎議長（江口 徹）

篠崎消防長

○消防長（篠崎 太望）

ただいまのご質問についてお答えします。令和6年第1回消防組合議会定例会において答弁しました指令システム整備事業につきましては、指令システム整備事業費約6億5,000万円と消防救急無線デジタル整備事業費約3億5,000万円を合わせて、約10億円と答弁いたしておりますが、これにつきましては当初予定しておりました、当本部単独での整備事業費として形状を想定しておりました。今回、当初予算に計上しております16億1,856万円につきましては、直方鞍手広域消防本部との共同運用をすることにより、指令システム8億9,097万9千円、消防デジタル無線6億8,758万1千円、そしてあらたに、福岡県消防救急無線いわゆる共通波整備費用4,000万円を追加したものによるものでございます。今回直方鞍手広域消防本部と共同運用することにより当初の単独事業費と比べて整備事業費が

増額となったものでございます。以上です。

◎議長（江口 徹）

6番 豊田一元議員

○議員（豊田 一元）

単独運用と共同運用との違いで予算差異があるということで理解できました。

このシステム事業は共同事業であり、歳入に於いて1款1項消防指令業務共同運用負担金5億5856万8千円については直方鞍手広域消防の負担金です。そうであれば事業整備費用負担金の按分についてどのように決められたのか質問します。また、共同運用するにあたって、どのような方法で運用していくのか協議されて方向性が決められたと思いますがその内容についてお伺いします。

◎議長（江口 徹）

篠崎消防長

○消防長（篠崎 太望）

ご質問につきましては、まず、1点目の費用負担の按分につきましては、まず、今回の共同運用にかかる整備費として共同で使用するシステム機器等につきましては共通費とし、それぞれの消防本部が使用するシステム機器等については個別費とし二つに分けて考えています。そのうえで、共通費について両消防本部で按分することといたしまして、その按分方法につきましては、財政的に公平性が見込まれます地方交付税消防費に係るそれぞれの基準財政需要額割により按分することとしております。2点目の、どのような方法で運用していくのかについては、直方鞍手消防が、飯塚消防に全て事務委託いたします「事務委託方式」といたし、業務すべてを飯塚消防の職員が運用いたしますものでございます。なお、共同運用に係る人件費、運営費等の経費につきましては、毎年その必要額を直方鞍手消防から負担金として受け入れることといたします。以上です。

◎議長（江口 徹）

6番 豊田一元議員

○議員（豊田 一元）

基準財政需要額によって案分をし、また飯塚消防へ事務委託するということを答弁頂きました。

最後の質問ですが、この事業の財源について、歳入7款組合債に本年度予算11億860万円とあり、この地方債借入の詳細について説明願います。

また、令和8年4月、一年後の業務開始としていますが、開設後に新たな維持管理等の費用の発生があるのか、あればどれくらいの金額を見込んでいるのか、そしてシステム運用の維持管理費発生における2市1町の負担額はどのように推移するのか質問します。

◎議長（江口 徹）

篠崎消防長

○消防長（篠崎 太望）

お答えします。ご質問につきまして、まず、1点目の組合債11億860万円の内訳につきましては、先程予算説明でご説明いたしましたとおり、共同運用整備に係る起債としまして、10億7千200万円、高規格救急自動車整備事業に係る起債としまして、3千660万円を計上し、そのうち、共同運用に係る起債の内訳としましては、共同消防指令システム整備事業管理業務事業債として、880万円、共同消防指令システム整備事業債として、10億6千320万円、となっております。なお、いずれの起債につきましても、緊急防災・減災事業債での起債を予定いたしており、充当率100%、交付税算入70%となっております。なお、今回の指令システム整備事業は、共同運用により、緊急防災・減災事業債を活用することで実質負担額において、3億1千42万円の財政メリットを見込んでいます。

次に2点目の毎年発生するシステム運用の維持管理につきましては、現在のシステム保守費を参考に、整備費の3%から4%を見込んでおります。なお、保守費用につきましても、先ほどご説明いたしました整備費と同様、地方交付税消防費の基準財政需要額の割合で毎年直方鞍手消防と按分することといたしております。

次に3点目の、人件費、運営費についても管理費等に係る2市1町の負担額につきましては、システム保守費と同様に、毎年2市1町よりご負担いただいております。通常の組合負担金の中で、運用していくことを計画しております。以上です。

◎議長（江口 徹）

質疑を終結します。

討論を許します。

討論はありませんか。

（討論）

討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第1号「令和7年度 飯塚地区消防組合予算」を原案どおり可決することに、ご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり可決されました。

△議案第2号「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」

◎議長（江口 徹）

次に、議案第2号「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

篠崎消防長

○消防長（篠崎 太望）

議案第2号「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」の

提案理由についてご説明申し上げます。議案書の1ページをお開き願います。

本案の提案理由は、刑法等の一部を改正する法律（令和4年法律第67号）の公布に伴い、関係規定を整備するため、本案を提出するものでございます。

改正内容につきましては、現在の刑法にあたる「懲役」と「禁錮」が廃止され、これらに代えて「拘禁刑」が創設されたものであります。

次のページ、2ページをお開き願います。

第1条は、行政不服審査会条例、次に第2条は、個人情報の保護に関する法律施行条例の文言の整理でございます。

3ページの第3条は、情報公開、個人情報保護審査会条例、第4条は給与に関する条例の文言の整理となっております。

5ページをお開き願います。

附則につきましては、刑法の施行日に併せ、令和7年6月1日から施行することとしております。

次に附則の第2号から第5号におきましては、経過措置を規定しております。

以上で、議案第2号「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」の説明を終わります。

ご審議のうえ、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（江口 徹）

提案理由の説明が終了しましたが、質疑通告書の提出はあっておりませんので、質疑を終結いたします。

討論を許します。

討論はありませんか。

（討論）

討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第2号「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」を原案どおり可決することに、ご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり可決されました。

△議案第3号「飯塚地区消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び飯塚地区消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」

◎議長（江口 徹）

次に、議案第3号「飯塚地区消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び飯塚地区消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

篠崎消防長

○消防長（篠崎 太望）

議案第3号「飯塚地区消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び飯塚地区消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」の提案理由についてご説明申し上げます。議案書の7ページをお開き願います。

本案の提案理由は、育児休業、介護休業等育児又は家庭介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の公布に伴い、関係規定を整備するため、本案を提出するものでございます。次のページ、8ページをお開き願います。

主な改正内容は、超過勤務の免除対象となる子の範囲の拡大の改正を行っております。

第1条の勤務時間、休暇等に関する条例につきましては、第8条の2第2項において、「3歳に満たない子」を「小学校就学の始期に達するまでの子」に改正しております。次に10ページをお開き願います。

第2条の育児休業等に関する条例においては、法改正に伴い、条文の整理を行っております。次に附則につきましては、令和7年4月1日から施行することとしております。

以上で、議案第3号「飯塚地区消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び飯塚地区消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」の説明を終わります。

ご審議のうえ、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（江口 徹）

提案理由の説明が終了しましたが、質疑通告書の提出はあっておりませんので、質疑を終結いたします。

討論を許します。

討論はありませんか。

（討論）

討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第3号「飯塚地区消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び飯塚地区消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決することに、ご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり可決されました。

△議案第4号「飯塚地区消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」

◎議長（江口 徹）

次に、議案第4号「飯塚地区消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」を議題といたします。議案第4号「飯塚地区消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」提案理由の説明を求めます。

篠崎消防長

○消防長（篠崎 太望）

議案第4号「飯塚地区消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」の提案理由と改正の内容についてご説明申し上げます。議案書の12ページをお開き願います。

本案の提案理由は、一般職の職員の給与に関する法律が改正され、国家公務員の給与が改定されたことに伴い、これを参考に本消防組合職員の給与を改定するため、本案を提出するものでございます。

改正内容につきましては、人事院勧告に基づき各手当について改正いたしております。

それでは、改正の内容についてご説明いたします。

次のページ、13ページをご覧ください。

はじめに第1条 給与に関する条例第1条は、地方公務員法改正の際の条文の整理となっております。

次に第12条扶養手当の改正は、配偶者の「6,500円」を「3,000円」に、子の「10,000円」を「11,500円」に改正しております。

次に16ページをお開き願います。

第14条 地域手当は、「100分の1」を「100分の2」に改正し、第3項を新たに追加し、特別な事情がある場合について規定しております。

第16条通勤手当の改正は、第1項及び第2項については、文言及び条文の整理を行い、次に、18ページをお開き願います。

同じく、第16条に新たに第3項を追加し、通勤手当の上限を月15万円に引き上げ、通勤の要件を緩和しております。

次に、第25条第2項に規定しております管理職員特別勤務手当の支給対象時間帯につきましては、週休日等以外の日の午前0時から午前5時までの間を、週休日等以外の日の午後10時から午前5時までの間に改定するものでございます。

また、この改定に伴い、第3項において、特別勤務の時間が6時間以上となるケースが生じますことから、第1項とともに第2項につきましても、特別勤務の時間が6時間を超える場合について100分の150を乗じる旨の規定を追加するものでございます。

次に、第32条に規定しております定年前再任用の適用除外につきましては、規則委任したことにより第13条を削除し、定年前再任用職員についても住居手当を支給対象とするため、第15条を削除するものでございます。

次に、20ページから34ページまでの別表第1及び別表第2については、国家公務員の俸給表にならい、消防職給料表及び行政職給料表を改めるものでございます。

改正内容につきましては、昇格や民間経験者採用時の給与改善のため号俸をカットして初号の額の引き上げを行うものでございます。

次に34ページをご覧ください。

第2条についてご説明いたします。

第12条 扶養手当の改正は、配偶者の3,000円を廃止し、子の11,500円を13,000円に改正するものであります。

第14条 地域手当の改正は、「100分の2」を「100分の4」に改正しており、次のページ、36ページをお開き願います。

第15条 住居手当の改正は、配偶者の要件を拡大しております。

最後に附則についてですが、第1項については、本条例第1条の規定は令和7年4月1日から施行することとし、第2条については、令和8年4月1日から施行するとしております。

第2項は、号給の切り替えを規定し、37ページから49ページまでの附則別表第1級び附則別表2に掲げる号給の切り替えの対応表を規定しております。

次に、第3項は、号給の調整を規定しております。

第4項は、地域手当の支給の特例に関する条例の廃止を規定しております。

以上で、議案第4号飯塚地区消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の説明を終わります。

ご審議のうえ、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（江口 徹）

提案理由の説明が終了しましたが、質疑通告書の提出はあっておりませんので、質疑を終結いたします。

討論を許します。

討論はありませんか。

（討論）

討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第4号「飯塚地区消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決することに、ご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり可決されました。

△議案第5号「飯塚地区消防組合会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」

◎議長（江口 徹）

次に、議案第5号「飯塚地区消防組合会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

篠崎消防長

○消防長（篠崎 太望）

議案第5号「飯塚地区消防組合会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例の

一部を改正する条例」の提案理由と改正の内容についてご説明申し上げます。議案書の50ページをお開き願います。

本案は、本消防組合職員の給与条例改正を参考にして、会計年度任用職員の地域手当等の支給に関する規定を整備するため、本案を提出するものでございます。

それでは、改正の内容をご説明いたしますので、51ページをお開き願います。

改正内容につきましては、第3条に新たに地域手当を追加し、第7条に新しく第7条の2を追加し、勤務1時間あたりの報酬の額を定めております。

次のページ、52ページをお開き願います。

第8条は第7条の2の追加に伴い、条文の文言を整理し、第3号を追加して、地域手当の支給対象となる地域に在勤するパートタイム会計年度任用職員を定義しております。

53ページをご覧ください。

第10条の改正につきましては、読み替え規定の文言の整理となっております。

次に第12条及び次のページ、53ページの第12条の2の勤勉手当につきましては、地域手当に伴う改正となっております。

附則におきましては、この条例は、令和7年4月1日から施行することといたしております。

以上で、議案第5号「飯塚地区消防組合会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」の説明を終わります。

ご審議のうえ、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（江口 徹）

提案理由の説明が終了しましたが、質疑通告書の提出はあっておりませんので、質疑を終結いたします。

討論を許します。

討論はありませんか。

（討論）

討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第5号「飯塚地区消防組合会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決することに、ご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり可決されました。

△議案第6号「福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について」

◎議長（江口 徹）

次に、議案第6号「福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

篠崎消防長

○消防長（篠崎 太望）

議案第6号「福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更」について、ご説明いたします。

議案書の55ページをお開き願います。

本案は、令和7年3月31日を限り、下田川清掃施設組合が解散されることに伴い、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数を減少し、福岡県市町村職員退職手当組合同約を変更するため、地方自治法第290条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

今回の改正は、別表第1田川郡の項中「下田川清掃施設組合」を削り、別表第2第5区の項中「下田川清掃施設組合」を削るものでございます。

なお、附則においてこの規約は令和7年4月1日から施行することとされております。

以上で、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更の説明を終わります。

ご審議のうえ、ご議決賜われますようお願い申し上げます。

◎議長（江口 徹）

提案理由の説明が終了しましたが、質疑通告書の提出はあっておりませんので、質疑を終結いたします。

討論を許します。

討論はありませんか。

（討論）

討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第6号「福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更について」を原案どおり可決することに、ご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり可決されました。

次に、議案第7号「公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めること」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

武井組合長

△議案第7号公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めること」

○組合長（武井 政一）

議案第7号公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めること」について、ご説明いたします。

議案書の58ページをお開きください。

本案は、飯塚地区消防組合公平委員会委員に淵脇 明裕氏を選任したいので、議会の同意を求めるものでございます。

本選任につきましては、本消防組合の公平委員会委員1名の任期が、令和7年3月2日で満了いたしましたので、地方公務員法第9条の2第2項の規定に基づき、公平委員会委員の選任につき、議会のご同意を求めるものでございます。

なお、同氏の履歴書につきましては59ページに添付いたしております。

本議会のご同意を賜りますようお願いいたします。

◎議長（江口 徹）

提案理由の説明が終了しましたが、質疑通告書の提出はあっておりませんので、質疑を終結いたします。

討論を許します。

討論はありませんか。

（討論）

討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第7号「公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めること」を原案どおり同意することに、ご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり同意されました。

△議員提出議案第1号「飯塚地区消防組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例」

◎議長（江口 徹）

次に、議員提出議案第1号「飯塚地区消防組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

12番 吉松信之議員

○議員（吉松 信之）

それでは、議員提出議案第1号「飯塚地区消防組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正」の提案理由と改正内容についてご説明申し上げます。

本案は、刑法等が改正され、新たに拘禁刑が創設されたことに伴い、本案を提出するものでございます。

今回改正する内容については、刑法の「懲役」と「禁錮」が廃止されたため、これらに代え

て「拘禁刑」に文言を整理したものでございます。

1 ページをご覧ください。

飯塚地区消防組合議会の個人情報に関する条例の第53条から第55条中の「懲役」を「拘禁刑」に改めるものです。

最後に、附則において、この条例は令和7年6月1日から施行するとし、刑法施行日に合わせております。

以上で、議員提出議案第1号「飯塚地区消防組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正」の説明を終わります。

ご審議のうえ、ご議決賜りますようお願いを申し上げます。

◎議長（江口 徹）

提案理由の説明が終わりました。

質疑を許します。

質疑はありませんか。

（質 疑）

質疑を終結いたします。

討論を許します。

討論はありませんか。

（討 論）

討論を終結いたします。

採決いたします。

議員提出議案第1号「飯塚地区消防組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決することに、ご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり可決されました。

△報告第1号「専決処分の報告（物損事故に係る損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解）」

◎議長（江口 徹）

次に、報告第1号「専決処分の報告（物損事故に係る損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解）」を議題とします。

報告事項について説明を求めます。

坂田署長

○署長（坂田 潤治）

報告第1号 専決処分の報告（物損事故に係る損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解）について、ご説明申し上げます。

議案書の60ページをお開き願います。

本案は、令和7年1月15日に地方自治法第180条第1項の規定に基づき、物損事故に係る損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解について、専決処分したので、同条第2項の規定により報告するものであります。

2 事故の概要につきましては、令和6年11月18日15時05分頃、飯塚市平恒において、飯塚消防署飯塚タンク化学小隊が、消火栓検査を実施中、T字路を左折しようとしたところ、車両後部がオーバーハングにより民家のフェンスに接触し、フェンスと車両後部を破損させたものでございます。

損害の状況につきましては、人的傷害 双方なし。

物的損害 相手方 フェンス 組合側 消防自動車右側後部でございます。

過失割合は、消防組合が100%、相手方は0%とし、消防組合は、相手方への損害賠償金として15万5千771円を相手方に支払うもので、ございます。

詳細につきましては、次のページ61ページ5の損害額及び賠償負担額の表及び6の事故現場見取図に記載のとおりでございますが、消防組合が負担する相手方のフェンス修繕料として、15万5千771円は、公益社団法人 全国市有物件災害共済会より支払われます。

このような事故を起こしたことは誠に遺憾であり、本議会に対しまして深く陳謝申し上げます。申し訳ございませんでした。

今後は、同種事故の再発防止に努め、指導の徹底を図ってまいる所存でございます。

以上で、報告第1号の説明を終わります。

◎議長（江口 徹）

報告事項に対する説明が終わりましたが、質疑通告書の提出は、あっておりませんので質疑を終結いたします。

本案は、報告事項でありますので、ご了承を願います。

△一般質問

◎議長（江口 徹）

次に、一般質問ですが、一般質問の通告はあっておりませんので、一般質問を終結いたします。

△署名議員を指名

◎議長（江口 徹）

次に、署名議員を指名いたします。

4番 林 英明 議員

13番 土居 幸則 議員

よろしく願いいたします。

△閉会

◎議長（江口 徹）

以上をもちまして、議事日程のすべてを終了いたしましたので、令和7年第1回飯塚地区消防組合議会定例会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午後3時7分 閉会

●出席議員

(出席議員 13名)

1番	江口	徹	8番	吉永	雪男
2番	中嶋	廣東	9番	奥山	亮一
3番	久世	賢治	10番	田中	武春
4番	林	英明	11番	永末	雄大
5番	竹本	慶吉	12番	吉松	信之
6番	豊田	一元	13番	土居	幸則
7番	出水	貴之			

●職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局書記	花元	稔和
〃	和多	良
〃	大石	巖生
〃	松本	圭介
〃	郷原	百合

●説明のため出席した者

組合長	武井	政一
副組合長	赤間	幸弘
副組合長	井上	利一
消防長	篠崎	太望
次長兼飯塚署長	坂田	潤治
参与兼予防課長	松岡	春樹
指令課参与	中西	敏弘
警防課長	上尾	雄一
指令課長	高岩	伸親
総務課長	佐藤	康道
警防課長補佐	作本	靖彦
予防課長補佐	徳永	進一郎

副署長兼消防課長
副署長兼警備課長
会計管理者

河 辺 英 美
北 代 英 治
笹 尾 清 隆